

平成26年度 事業報告

I. 総括

平成23年3月11日（金）に発生した東日本大震災に対する取り組みとして、被災者健康支援連絡協議会（厚生労働省・内閣府・総務省・文部科学省・19組織（34団体））と連携しながら支援を行ってきた。平成26年度は新たに原子力災害影響調査等事業として環境省の委託事業である「福島県外における住民の個人被ばく線量把握事業」を東北地域・関東甲信越地域の各県（診療）放射線技師会と連携しながら、個人線量計による外部被ばく線量の正確な把握をするための事業を実施した。

第8回JART・JSRT公開合同学術セミナー「チーム医療の推進と診療放射線技師に求められる役割」を開催した。厚生労働省から基調講演として「医療従事者間の役割分担とチーム医療の推進」、技師の立場から「チーム医療の推進による診療放射線技師の業務範囲の見直し」「養成機関におけるチーム医療の推進に関する教育の取り組み」「医療機関におけるチーム医療の推進と診療放射線技師の役割」「チーム医療の推進と学会に求められる役割」について有意義な議論を交わした。

第30回日本診療放射線技師学術大会を大分県で開催した。ISRRT事務局長Alexander Yuleによる「Past Activities of the ISRRT and its Future Aims and Objectives」の招待講演、日本病院会 堺 常雄会長による「2025年に向けたより良い病院医療提供体制整備を目指して」をはじめ特別講演を4演題、第30回記念学術講演として大分大学森宣教授による「放射線医学というノア方舟」、市民公開講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、第30回記念シンポジウムⅠ、シンポジウムⅠ～Ⅵ、消化管4団体合同学術集会、一般研究発表および機器展示等を実施し、会員の生涯教育に努めた。

第186通常国会開催中の6月18日に「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備に関する法律」が可決成立した。この一括法案の中に診療放射線技師の業務拡大に伴う診療放射線技師法の一部改正が含まれていた。今後は法律改正に伴う統一講習会（抜針・止血、注腸造影、放射線治療：IGRT）を実施していく所存である。

平成25年度に引き続き経済産業省商務情報政策室

ヘルスケア産業課要請を受け、海外産業人材育成協会（HIDA）を通じて、BANGLADESHの医師を対象とした超音波装置の使用方法和診断方法の指導のため、診療放射線技師をダッカに派遣した。

平成27年1月診療放射線技師養成機関との懇談会を開催し、平成27年度事業計画案、第31回日本診療放射線技師会学術大会、診療放射線技師の業務拡大に伴う指定規則の変更内容、業務拡大に伴う統一講習会内容、臨床実習の在り方委員会設置、乳がん検診・胃がんにおける医師立ち会いについての要望等について説明した。

平成26年11月、ホテルニューオータニで、自由民主党診療放射線技師制度に関する議員懇談会の設立総会が開催された。自由民主党からは懇談会会長、懇談会顧問、懇談会幹事長、本会からは会長、副会長、理事および事務局が出席し、診療放射線技師法の抜本的改正等について意見交換を行った。平成27年1月、衆議院第二議員会館において、公明党診療放射線技師制度に関する議員懇談会が開催され、医学物理士国家資格化反対及び国家試験委員構成の在り方について意見交換を行った。

平成28年度診療報酬改定に向けて、全国的なアンケート調査を行い、医療安全のための適切な管理体制の構築、医療機器安全管理料Ⅰの適用拡大について、放射線機器分科会と連携しながら、厚生労働省に要望書を提出した。

医療法第6条に基づいた広告のできる認定・専門技師制度構築に向けて、日本放射線治療専門放射線技師認定機構と折衝してきたが、両会の意志統一には至らなかった。今後も両会の意志統一に向けて努力する所存である。

放射線検査・治療依頼に対する疑義照会について周知を図る事業として、医療安全対策委員会の中で、疑義照会資料の提供できる施設の確保とアンケート調査を行い、学術大会で発表した。

平成27年2月に実施された第67回診療放射線技師国家試験を検証するための国家試験問題評価委員会を昨年に引き続き開催し、答申案をまとめ、厚生労働省に提出した。この事業は平成23年から厚生労働省医政局医事課試験免許室と国家試験問題や国家試験委員会の在り方を検討していた中で生まれた事業である。この事業を今後も続ける中で、国家試験委

員会の委員として参加している診療放射線技師の役割拡大を働きかけていく予定である。

会員の皆様方より一層のご理解とご協力をお願いする次第である。

II. 庶務報告

1.1 本会役員

会 長	中澤 靖夫		
副会長	小川 清	佐野 幹夫	
外部理事	衣笠 達也	豊田 長康	
	西貝 圭子		
地域理事	板東 道夫	阿部 養悦	
	横田 浩	篠原 健一	
	北川 明宏	轟 英彦	
	廣木 昭則		
全国理事	小林 一郎	原口 信次	
	畦元 将吾	熊代 正行	
	小田 正記	橋本 薫	
	中村 勝	富田 博信	
	小野 欽也	児玉 直樹	
	江田 哲男	北村 秀秋	
監 事	新開 英秀	小川 利政	
	室野井 廣		

1.2 会議開催状況

代表理事・業務執行理事活動状況

(1) 総会

定時総会

第74回定時総会を平成26年6月7日(土)、日経ホールにおいて代議員185名のうち出席者167人、委任状出席17人計184人の出席のもと開催した。

臨時総会

第75回総会(臨時)を平成26年7月18日(金)、AP浜松町において代議員185名のうち出席者83人、委任状出席48人計131人の出席のもと開催した。

(2) 理事会

平成26年度は6回開催し重要案件など審議決定した。

開催日	会議名
5月2日	第1回理事会
6月7日	第2回理事会
7月5日	第3回理事会
10月11日	第4回理事会
12月20日	第5回理事会
2月21日	第6回理事会

(3) 各種委員会

下記委員長の下、精力的な委員会活動が行われた。

1) 独立委員会

- ①選挙管理委員会 (浅沼雅康) 2回
- ②総会運営委員会 (未 定) 1回

2) 常設委員会

- ①総務委員会 (熊代正行) 14回
- ②財務委員会 (小田正記) 11回
- ③地域委員会 {全国地域連絡協議会および地域連絡協議会} 2回
- ④学術教育委員会 (児玉直樹) 10回
- ⑤編集委員会 (富田博信) 12回
- ⑥広報委員会 (小野欽也) 3回
- ⑦企画委員会 (中澤靖夫) 20回
- ⑧表彰委員会 (山本一雄) 1回
- ⑨倫理委員会 (小川 清) 1回

3) 特別委員会

- ①診療報酬政策立案委員会 (原口信次) 4回
- ②チーム医療問題検討委員会 (原口信次) 0回
- ③医療安全対策委員会 (廣木昭則) 1回
- ④災害対策委員会 (北川明宏) 2回
- ⑤医療被ばく安全管理委員会 (藤原理吉) 4回
- ⑥主任者定期講習運営委員会 (小野欽也) 3回
- ⑦業務実態調査委員会 (小林一郎) 2回
- ⑧放射線検査説明・相談促進委員会 (麻生智彦) 2回

- ⑨国家試験問題評価委員会 (佐野幹夫) 1回
- ⑩技師法改正検討委員会 (西山 篤) 3回
- ⑪技師法改正歴史編纂委員会 (金場敏憲) 7回

4) 小委員会

- ①定款改定・諸規定見直し委員会 (小川 清) 4回
- ②データベース委員会 (小川 清) 3回
- ③国際部委員会 (児玉直樹) 1回
- ④教育委員会 (児玉直樹) 3回
- ⑤生涯教育運営委員会 (中村 勝) 1回
- ⑥認定資格委員会 (児玉直樹) 2回
- ⑦Ai活用検討委員会 (樋口清孝) 3回
- ⑧医療画像情報精度管理士 (麻生智彦) 3回
- ⑨臨床実習指導教員 (児玉直樹) 1回
- ⑩臨床研修実施運営委員会 (原口信次) 9回
- ⑪臨床実習施設登録審査委員会 (佐野幹夫) 1回
- ⑫診療放射線技師マネジメント研修委員会 (佐野幹夫) 1回
- ⑬入会促進委員会 (佐野幹夫) 3回
- ⑭第30回学術大会実行委員会 (江藤芳浩) 1回
- ⑮第31回学術大会実行委員会 (轟 英彦) 1回
- ⑯女性サミット運営委員会 (橋本 薫) 2回
- ⑰診療放射線技師教育内容検討委員会 (児玉直樹) 1回

5) 分科会

- ①放射線機器管理士分科会 (中村泰彦) 3回
- ②放射線管理士分科会 (南保 修) 5回
- ③放射線治療分科会 (井戸靖司) 1回
- ④読影分科会 (加藤京一) 8回
- 6) 外部委員会
- ①戦略企画室 (中澤靖夫) 4回

1.3 本会が参加加盟している組織

1.3.1 国際関係

- (1) 世界放射線技師会 (ISRRT)
- (2) 国際専門放射線技師認定機構
- (3) アジア・ファンド

1.3.2 国内関係

- (1) 財日本医療機能評価機構
- (2) 財医療研修推進財団
- (3) 日本医療技術者団体連絡協議会
- (4) チーム医療推進協議会
- (5) 国民医療推進協議会
- (6) 被災者健康支援連絡協議会
- (7) 医療被ばく研究情報ネットワーク
- (8) 医療の質・安全学会
- (9) 財医療機器センター
- (10) 画像診断コンソーシアム
- (11) 医療経営教育協議会 (高度医療教育コンソーシアム)
- (12) 財医療関連サービス振興会
- (13) 財結核予防会
- (14) 日本規格協会
- (15) 日本放射線治療専門放射線技師認定機構
- (16) 放射線治療品質管理機構
- (17) 日本核医学専門技師認定機構
- (18) 日本磁気共鳴専門技術者認定機構
- (19) 日本X線CT専門技師認定機構
- (20) 日本救急撮影技師認定機構
- (21) 日本血管造影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構
- (22) (一社) 医療安全全国共同行動
- (23) (一社) ジャパンダイバーシティネットワーク

1.4 表彰

- 功労表彰 38名
- 地域功労表彰 6名
- 本会役員等功労表彰 1名
- 特別功労表彰 31名

- 永年勤続表彰 348名
- 30年表彰 318名
- 50年表彰 30名

1.5 物故者

平成26年4月1日より平成27年3月31日までにご逝去された会員は、下記の通り(敬称略)。

所属	人数	氏名	所属	人数	氏名
北海道	1	青山 聡			服部 繁
青森県	2	成田 一雄	愛知県	3	金田 泰一
		伊藤 博			渡辺 清光
岩手県	1	東山 行雄	三重県	1	加藤 進
福島県	2	古内 孝紀	京都府	1	小松 嘉勝
		村松 影治	大阪府	1	濱口 孝志
茨城県	1	村上 允邦	兵庫県	1	(匿名)
埼玉県	2	板橋 修一	奈良県	1	多田 勝紀
		保泉 賢司	和歌山県	1	(匿名)
東京都	1	嶋原 定義	岡山県	1	光岡 茂雄
新潟県	1	宮島 裕子	山口県	1	山川 道孝
富山県	1	澤村 栄義	徳島県	1	湯浅 勝利
福井県	1	古本 成次	愛媛県	2	篠藤 進
山梨県	1	大竹総一郎			八田 博美
長野県	1	岩崎 真二	福岡県	3	埋金 志真
岐阜県	2	大塚 誠			高城 國男
		(匿名)			篠原 安宣
静岡県	2	金刺 実	長崎県	1	桐谷 泰行
		富永 信夫	鹿児島県	2	下野 哲勇
			沖縄県	1	(匿名)

平成26年度物故者数 40名

1.6 会員の動向

1) 会員数の推移

月	平成25年度 会員数(名)	平成26年度 会員数(名)	対前年度 増減
4	27,598	27,219	△379
5	27,785	27,579	△206
6	27,916	27,428	△488
7	28,024	27,627	△397
8	28,086	27,771	△315
9	28,139	27,942	△197
10	28,202	28,104	△98
11	28,236	28,143	△93
12	28,218	28,136	△82
1	28,189	28,120	△69
2	28,097	27,989	△108
3	28,214	27,618	△596

(平成26年度末除籍者数 308名)

※平成26年度より仮会員は会員数に含まない

2) 入会者の推移

月	平成25年度 入会者数(名)	平成26年度 入会者数(名)	対前年度 増減
4	216	0	△216
5	223	71	△152
6	183	259	76
7	137	225	88
8	97	175	78
9	73	180	107
10	61	167	106
11	57	75	18
12	32	69	37
1	44	63	19
2	37	47	10
3	117	33	△84
計	1,277	1,364	87

3) 会費完納者状況

月	平成25年度 (名)	平成26年度 (名)	対前年度 増減
4	6,444	5	△6,439
5	9,681	6,836	△2,845
6	11,782	12,497	715
7	13,721	14,900	1,179
8	18,374	17,766	△608
9	19,543	19,165	△378
10	21,249	22,258	1,009
11	21,864	22,800	936
12	22,245	23,222	977
1	23,945	24,818	873
2	24,809	25,734	925
3	25,316	25,939	623
計	25,316	25,939	623

Ⅲ. 事業報告

A：診療放射線学及び診療放射線技術の 質の向上発展

A-1 各種放射線診療技術講習会の開催に関する事業

A.1.1 診療放射線技師基礎講習の開催

(1) 基礎技術講習会

- ①X線CT検査 [4回開催]
- ②MRI検査 [8回開催]
- ③核医学検査 [3回開催]
- ④一般撮影(CR, DR) [8回開催]
- ⑤消化管撮影 [6回開催]
- ⑥乳房撮影 [3回開催]
- ⑦放射線治療 [3回開催]

⑧血管造影検査 [3回開催]

⑨超音波検査 [1回開催]

A.1.2 講習会等テキストの作成

- (1) 基礎講習に関するテキスト
- (2) 臨床研修に関するテキスト
- (3) 読影に関するテキスト
- (4) その他必要なテキスト

A.1.3 放射線取扱主任者定期講習会の開催

原子力規制委員会指定定期講習会を、年3回(6月、10月、2月)開催し、放射線取扱主任者の放射線安全管理の向上を図った。

A.1.4 Ai講習会の開催

死因究明制度の構築に向け、Ai活用検討委員会を中心に活動を行った。

- (1) Ai認定診療放射線技師の必須条件である講習会を開催し、Aiの普及と資質向上を図った。
- (2) Ai認定講習会をAi学会および日本医師会と連携し、全国で3回(愛知・広島・東京)開催した。また、小児Aiに関する内容も含めたガイドラインの改訂に向け、実態調査を行い、Aiに従事する診療放射線技師のための情報提供を行った。
- (3) 学術大会においてシンポジウムを企画し、Aiの取り組み状況を把握し、時代の変化に対応した。

A-2 レントゲン週間イベント等一般向け診療放射線技術に関する事業

A.2.1 レントゲン週間イベントの開催

ポスターや展示用パネル資料を使用し、『レントゲン週間』のイベントに積極的に取り組めるよう支援すると共に、広く国民に医療放射線と健康について考える機会を提供した。

- (1) イベントは、「市民参加型」「市民対話型」をキーワードに展開し、放射線や診療放射線技師職を理解してもらうことをねらいとし、11月3日に横浜市クイーンズサークルで開催した。また、山梨県、和歌山県、兵庫県、茨城県および岡山県のイベントに共催ならびに後援を行った。
- (2) 「身近な放射線の専門家 診療放射線技師」のZカードを作成し、イベントにおいて配布した。

A.2.2 日本診療放射線技師会・日本放射線技術学会 合同学術セミナーの開催

日本放射線技術学会（JSRT）と共催で、診療放射線技師業務の評価・改善に関する事業を展開した。

平成26年度は、JARTの企画により「チーム医療の推進と診療放射線技師に求められる役割」をテーマに、合同学術セミナーを8月30日に東京で開催した。

A-3 診療放射線業務の評価及び改善に関する事業

A.3.1 診療放射線業務に関する調査

(1) 診療放射線技師の施設とその環境における業務の実態調査を行った。

- ①診療放射線技師の撮影、治療技術に対する評価に向けて調査を行った。
- ②放射線機器の維持管理に対する評価として、故障・事故事例の実態調査を行った。

(2) 平成28年度診療報酬改定に向け、他の医療関連職種および団体と連携して準備を進めた。

A.3.2 診療放射線技師の業務拡大に伴う臨床研修

(1) 診療放射線技師業務拡大に伴い、①「注腸X線検査臨床研修」および②「静脈注射（針刺しを除く）に関する講習会」の実施運営と推進を図り、統一講習会の全国開催に向けて準備を進めた。

(2) 研修に伴う実習用ファントムを購入し、臨床研修を充実させた。

A.3.3 読影業務の促進

平成22年4月の医政局通知「読影の補助」を促進するための事業として、一次読影に関する誌上教育およびセミナーとシンポジウム等を開催した。

A.3.4 診療放射線技師の指定規則・指導要領の適正化

診療放射線技師法、指定規則、指導要領等の改正案を作成し、厚生労働省ならびに文部科学省に要望書を提出した。

A.3.5 診療放射線技師国家試験問題の評価

診療放射線技師養成教育カリキュラムと照らし合わせ、適正な国家試験問題が作成されているかを評価し、関連機関に発信する事業を展開した。また、国家試験委員会の委員の編成について要望書を厚生労働省に提出した。

A-4 がん対策及び検診の受診促進に関する事業

A.4.1 がん検診受診率50%向上

10月4日に開催された「がん検診50%推進全国大会」に参加し、関連団体と連携し、がん検診受診率50%達成に向け、事業を展開した。

A.4.2 がん放射線治療の均てん化

放射線治療の均てん化並びに質の確保、向上に向け、厚生労働省が進めるがん対策推進についてシンポジウムを開催し、昨年度実施した放射線治療業務スタッフ数等の調査結果を報告した。

A.4.3 がん対策公開セミナーの開催

関連団体と連携し、受診率の向上並びに放射線治療の有用性等の広報に向けた公開セミナーの開催に協力した。

A.4.4 その他、がん対策推進に必要な事業

その他社会情勢の変化に応じて、がん対策の推進に向け必要な事業を行った。

B：診療放射線学に関する研究及び啓発

B-1 全国診療放射線技師学術大会の開催

B.1.1 学術大会の開催

(1) 日本診療放射線技師学術大会の開催及び準備

- ①第30回日本診療放射線技師学術大会を、平成26年9月19日（金）から21日（日）までの3日間、大分県別府市において開催した。平成27年度京都市において開催される第31回日本診療放射線技師学術大会の準備を行った。
- ②開催マニュアルの整備・運用を推進した。

(2) 地域学術大会の開催

本会組織規程に基づき、全国8地域で開催される地域学術大会を開催した。

(3) 分科会の開催

放射線機器管理士、放射線管理士、放射線治療および読影の各分科会講習会等を開催し、認定技師の育成に努めた。また、第30回日本診療放射線技師学術大会においてシンポジウムを企画し、活動の報告を行った。

B-2 業界誌の発行

B.2.1 定期刊物の発行

(1) 会誌「JART」の発行

①診療放射線技術学に関する研究や日常業務に関する工夫などの学術論文や資料および最新の技術動向等を掲載して会員への啓発を図ると共に、各事業の円滑な展開を目的に本会の方針や今後の方向性を示す月刊誌「JART」を毎月1回発行した。

②学術論文の投稿を促進するため、学術大会等での優秀な研究発表に対し、論文文化に向けた支援を図った。

(2) ニュース紙「Network Now」の発行

①会員の身近な情報源として、本会ならびに関連団体のトピックス等を掲載した情報紙「Network Now」を月刊で発行した。

②本紙の電子配信に向けて試行に取り組んだ。

(3) 英文誌の発行

海外の診療放射線技師に日本の情報を提供することを目的に、2月に英文誌を発行した。

B.2.2 ホームページによる情報の提供

(1) ホームページの内容を充実させ、会員ならびに国民に広く情報提供を行った。

(2) 利用動向の調査からの確かな活用を図るよう整備を行った。

B.2.3 その他、必要な編集・広報

(1) 電子メールを活用した情報提供等の実現に向けた環境整備をした。

(2) レントゲン週間開催時に診療放射線技師の業務内容を参加者へ周知するために、Zカードの作成を行い配布した。

B-3 委託研究，課題研究の公募

B.3.1 委託研究に関する事業

診療放射線学に関する研究と啓発を行うため、本会の『学会等の設置に関する規程』に基づいて認定された学会等に対し、本会が必要とする研究の委託を行った。

B.3.2 課題研究

診療放射線学及び診療放射線技術学の研究奨励のため課題研究の募集を行った。

C：放射線診療の安全確保に係る事業

C-1 放射線診療における安全確保のための講習会，セミナーの開催

C.1.1 医療安全の推進に関する事業

(1) 医療安全の推進に関する講習会の開催

医療安全を推進するための講習会等を開催した。

30回学術大会（別府市）および地域学術大会において「患者参加型の医療安全」をテーマに、疑義照会を含めた医療安全シンポジウムを開催した。

(2) 放射線部門における安全管理の推進

放射線部門に関連する安全確保の確立に向けた事業として、具体的な医療事故、インシデント事例、疑義照会などの情報収集および分析を行うための準備を進めた。

(3) 医療機器安全管理の推進

医療法に基づく医療機器に係わる安全確保のための体制づくりをより一層進め、国民に安全な医療を提供するための事業を推進した。

(4) その他医療安全の推進

その他社会情勢に応じて、医療安全の推進に必要な事業を行った。

C.1.2 臨床実習施設における安全の確保

診療放射線技師学校養成所指定規則第2条に基づき、条件を備えている施設を『臨床実習認定施設』として認定し、臨床実習が安全かつ適正に行われるよう環境整備を推進した。

C-2 被ばくの適正化に関する事業

C.2.1 医療被ばく低減施設認定

(1) 医療被ばく低減施設認定

国民に対する医療被ばくの適正化を推進する事業と位置付け、標記の認定を受審する施設に対し、被ばく線量の測定、評価等の支援を行い、医療被ばく低減施設としての審査を行い認定した。

(2) 医療被ばく線量測定

①医療被ばく適正化のための医療施設の線量把握、実測を促進するための事業として、実践医療被ばく線量評価セミナーを2回（東京、大阪）開催した。

(3) 医療被ばく安全

放射線に対する不安を解消するためのツールとして『レントゲン手帳』を医療施設の管理者等に広報し、多くの施設が積極的に活用出来るようにするための事業を行った。

(4) 医療被ばくガイドライン改訂

放射線診療における線量低減目標値を示した「医療被ばくガイドライン2006」を現状に即した提言となるよう関連団体（J-RIME）と協力して改訂した。

C.2.2 サーベイヤー養成講習会の開催

医療被ばくの低減化を目的とし、医療被ばくの適正化を実施している医療被ばく低減施設客観的に評価するサーベイヤーとして第三者による訪問審査を行い、審査基準の統一化と医療監視等との整合性を図るため、サーベイヤーの育成をめざしたサーベイヤー会議の開催に向けて準備を行った。

C-3 原子力災害に関する事業

- (1) 東日本大震災に伴う被災地の復興と被災者に対する支援活動として、厚生労働省、被災者健康支援連絡協議会と連携しながら、原子力災害対策政策案の一つである原子力発電所設置施設から30km圏内の自治体に対して緊急被ばくに対応できる専門職（放射線管理士）の配置や被災者の支援に向けた活動を継続実施した。
- (2) 原子力災害のみならず、今後起こりうる放射線災害や大規模災害発生時においても、国民に対して診療放射線技師の専門性を生かした組織的な対応ができるよう体制整備等を行い、「大規模災害発生時に支援できる診療放射線技師」をテーマにシンポジウム開催した。
- (3) 環境省委託業務事業（平成26年度原子力災害影響調査等事業）として福島県外における個人被ばく線量を適切に把握し、結果を環境省に報告した。

C-4 医療職種における職種境界業務調整の推進

C.4.1 チーム医療の推進

- (1) 安全で質の高い医療を実現するため、メディカルスタッフがそれぞれの専門性を高め、各職種が連携し、患者にとって満足な医療を提供する「チーム医療」の推進に向けた事業を行った。
- (2) 診療放射線技師の業務の在り方について検

証した。

C.4.2 医療関連職能団体

チーム医療を推進するため、以下の職能団体と協議した。

- (1) チーム医療推進協議会
- (2) 日本医師会
- (3) 日本看護協会
- (4) その他、医療関連職能団体

C.4.3 医療関連団体

本会の事業を推進するため、以下の職能団体と協議した。

- (1) 医療研修推進財団（P-MET）
- (2) 日本医療機能評価機構
- (3) 日本画像医療システム工業会（JIRA）
- (4) 日本放射線技術学会（JSRT）
- (5) 画像診断コンソーシアム
- (6) その他、医療関連団体

C-5 放射線に関する相談窓口等の開設

C.5.1 放射線検査説明・相談促進

平成22年4月の医政局通知「放射線検査の相談」を促進するための教育目標および指針に基づき、第30回日本診療放射線技師学術大会においてシンポジウムを開催した。

放射線検査説明・相談促進にかかる事項として、以下の事業を実施・推進した。

- (1) 放射線検査説明のガイドラインおよび指針の周知を図るための啓発活動を行った。
- (2) 患者相談窓口への診療放射線技師の参画を推進した。
- (3) 放射線検査の説明のための要員派遣や病棟指導等、来る診療報酬を鑑みた政策を推進した。
- (4) 放射線検査説明・相談に係るセミナーや研修会に講師を派遣した。

C.5.2 被ばく相談

日本診療放射線技師会放射線被ばくネット相談センターにおける相談事業を継続し、国民の放射線被ばくに対する不安に対応できる相談員の育成を図る目的として、放射線被ばく相談員講習会を2回開催した。

D：診療放射線技師の生涯教育

D-1 資格認定講習会の開催

生涯教育事業の達成目標を明確にし、生涯教育事業を推進するための講習会を開催した。

D.1.1 AD講習会の開催

- (1) 医療社会倫理学 (e-learning)
- (2) 救急医療学 (含実技)
- (3) 救急医療学講習会 (実技)
- (4) 看護学講習会 (含実技)
- (5) 医療安全学 (e-learning)

D.1.2 生涯学習の構築ならびに推進

- (1) 生涯学習の構築ならびに運営

国民に安心で安全な医療を提供すると共に、その期待に応えられる診療放射線技師の育成を目的とし、全国の診療放射線技師が主体的に取り組める『生涯学習システム』の環境整備を行った。また、生涯学習の取り組みによる診療放射線技師の資質向上が国民に正しく理解されるよう積極的な働きかけを行った。

- (2) 生涯学習担当の委員の育成

生涯学習を展開する上で都道府県放射線技師会との連携は重要である。47都道府県に広く生涯教育事業を展開することにより、多くの診療放射線技師の資質向上を図った。

生涯教育事業のスムーズな実施のため、教育委員会および教育委員幹事会を開催し、都道府県放射線技師会との連携強化を図るとともに、問題点等の解消に努めた。

- (3) 診療放射線技師の教育制度

医療技術の急速な進歩発展に対応するとともに国民と共同し、チーム医療の推進と業務拡大に伴う教育制度を確立した。

- ①業務拡大に伴う教育カリキュラムの見直しを行い、四年制大卒資格化をめざした施策を行い、厚生労働省ならびに文部科学省に要望書を提出した。
- ②卒業教育において、業務拡大に伴う教育・実習制度を考慮した基盤づくりを行い、統一講習会を全国展開するための準備を進めた。

D.1.3 各種認定資格講習会

本会の5つの認定講習会を継続して実施し、各施設に1人以上の認定者を目指すために講習会(e-learning)を開催した。

- (1) 認定資格講習会の開催

- ①臨床実習指導教員養成講習会 (e-learning)
- ②放射線機器管理士講習会 (e-learning)
- ③放射線管理士講習会 (e-learning)
- ④医療画像情報精度管理士講習会 (e-learning)
- ⑤Ai認定講習会
- ⑥放射線被ばく相談員講習会

- (2) 認定資格試験の開催

- ①臨床実習指導教員認定試験の実施
- ②放射線機器管理士認定試験の実施
- ③放射線管理士認定試験の実施
- ④医療画像情報精度管理士認定試験の実施
- ⑤Ai認定診療放射線技師認定審査の実施

- (3) 認定資格更新講習会の開催

- ①臨床実習指導教員更新講習会 (e-learning)
- ②放射線機器管理士更新講習会 (e-learning)
- ③放射線管理士更新講習会 (e-learning)
- ④医用画像情報管理士更新講習会 (e-learning)

- (4) 移行講習会の開催

医療画像情報精度管理士への移行講習会をe-learningにて実施した。

- (5) 認定資格失効者講習会の開催

- ①臨床実習指導教員失効者講習会 (e-learning)
- ②放射線機器管理士失効者講習会 (e-learning)
- ③放射線管理士失効者講習会 (e-learning)
- ④医用画像情報管理士失効者講習会 (e-learning)

- (6) 国際認定の開催

来るべき診療放射線技師業務の国際化に対応するための国際認定事業を行った。

D.1.4 認定講習テキスト等の作成

認定講習会のためのテキストの整備、作成を進めた。

D-2 インターネットによる遠隔講習会の開催

D.2.1 ホームページによる広報と更新

セミナー、講習会の開催に際しては、広く国民に周知を図るために、内容をホームページに広報するほか、国内医療施設や関連機関に内容を掲示依頼した。掲示される講習会の内容を充実させると共に、ホームページをより見やすいように更新した。

D.2.2 e-Learningの改修及び整備

在宅学習ができるようe-learningによる履修を整備し推進していった。

- ①医療安全学
- ②上部消化管および下部消化管認定講習

E：その他目的達成に必要な事業（本会目的達成のため他団体との連携活動等）

E-1 関係団体との交流事業（国内）

E.1.1 都道府県技師会との連携

地域医療の推進に向けた診療放射線技師の資質向上を図るために、都道府県技師会との連携を深めると共に地域住民に対する医療放射線に関する公開講演会、学術講演会等の事業を支援し、組織強化に努めた。

E.1.2 認定機構等との連携

放射線診療業務に関する専門・認定技師機構との連携強化を深め、認定制度を推進した。また、生涯教育事業との関連を明確化する施策を行った。

E.1.3 診療放射線技師養成機関との連携

診療放射線技師養成に関する諸問題について協議を行った。

E.1.4 診療放射線技師職域団体との連携

診療放射線技師の職域間での諸問題について協議を行った。

E.1.5 本会承認学会との連携

本会承認学会である日本放射線公衆安全学会、日本放射線カウンセリング学会、日本医用画像管理学会、日本放射線技師教育学会と連携し、診療放射線技師の資質向上を図った。

E.1.6 その他、必要な団体との連携

その他、社会情勢の変化に即して関係する団体との連携を行った。

E-2 関係団体との交流事業（国際）

E.2.1 WHO協力センターの情報提供

本会はWHO協力センターに指定されており、世界の診療放射線技師の状況を把握するための情報提供を行った。

E.2.2 世界放射線技師会との学術交流

6月にフィンランド・ヘルシンキで開催されたISRRTに参加し、発表に伴う学術支援を行うと共に本会役員を派遣した。

別府市で開催された第30回日本診療放射線技師学術大会・第21回東アジア学術交流大会において、

ISRRT役員を招聘してインターナルセッションの招待講演を行った。また、ISRRT加盟国より参加ならびに多数の演題登録があった。

E.2.3 アジア・オーストラレーシア（AACRT）地域との学術交流

AACRT地域の診療放射線技師との連携を深め、域内の技師会との学術交流を深めた。シンガポールで開催される第20回AACRT学術大会の参加に向け広報した。

E.2.4 東アジア地域との学術交流

日韓台の3国が中心となり、東アジア地域の放射線医療技術の向上に努めた。

(1) 第21回東アジア学術交流大会を別府市において開催した。また、台湾・淡水で開催された第22回東アジア学術交流大会に参加し、発表に伴う学術支援を行うと共に本会役員を派遣した。

(2) 国際専門放射線技師機構（IABSRT）の理事会（タイ）に出席した。

E.2.5 その他、国際学術交流

その他、社会情勢の変化に応じて、国際学術交流事業を行った。

E-3 組織の強化に関する事業

E.3.1 フレッシュャーズセミナーの開催

診療放射線技師として新たに勤務するフレッシュャーズを対象とした基礎講習を開催し、診療放射線技師として必要な基礎知識と技術を身につけ、医療・福祉の向上に努めるため、都道府県技師会と連携し、入会促進講習会（フレッシュャーズセミナー）を開催した。

E.3.2 マネージメント研修の開催

職場や職能団体におけるミドルマネージャーからトップマネージャーまでを対象とし、管理職として必要な資質養成セミナーを開催した。

E.3.3 女性サミットの開催

(1) 女性技師を中心としたイベントまたは調査を全国8地域において実施した。

(2) 第30回日本診療放射線技師学術大会においてシンポジウムを実施した。

E.3.4 入会促進に関する事業

(1) 入会促進用パンフレットを活用し、未入会

者に対する入会を促進した。

- (2) パンフレット・ホームページを通じて入会を促進し、広く本会の生涯学習の受講を促し、診療放射線技師の資質の向上に努めた。

E-4 奨学金制度

診療放射線学に関する研究と啓発を行うため、大学院に進学する奨学生を募集した。

E-5 賠償責任保険に関する事業

賠償責任保険制度への加入の促進を図ると共に、万一医療事故が発生した際の補償だけに留まらず、事故防止の諸策を講じるために必要な情報提供、相談および支援等のサポート体制を図り、医療関連有害事象に対する損害賠償保険の全会員加入を継続実施した。

E-6 団体医療保険に関する事業

会員とその家族を対象とした団体医療保険の見直しを行い、多くの会員が互いに支えあえるよう普及に努めた。

E-7 無料職業紹介に関する事業

就職難、リストラ等の厳しい社会情勢を踏まえ、会員の再就職等に対応した無料職業紹介を行った。

E-8 診療放射線技師史編纂事業

近年、医療改革が押し進められる中で、約70年間に亘る診療放射線技師（診療X線技師）業務の変遷とこれまで歩んできた当会の道のりを明らかにするため、歴史編纂を行い、平成27年にエックス線発見120年を迎えるにあたり開催される記念事業の一環として、「記念誌 エックス線120年のあゆみ」を発刊するための編集作業を行った。

E-9 X線発見120周年記念事業の準備

平成27年（2015年）11月8日にヴィルヘルム・コンラート・レントゲンのX線発見120周年を迎える。これを記念し、記念式典開催に向けて準備を行った。

E-10 公益目的外事業

E.10.1 表彰に関する事業

以下の表彰を行い、診療放射線技師の志気の高揚を図った。

- (1) 功労表彰
- (2) 永年勤続表彰
- (3) その他、必要に応じた表彰

E.10.2 会員情報システムの構築および整備

事務処理の効率化および迅速化を図り、より高い機能とサービスの提供を実現するため、現行システムの適正運用を図った。

E.10.3 情報資産の運用管理

本会が所有する情報資産についてその的確な活用と管理、および情報セキュリティの確保を図るとともに、IT化を推し進め、効率的な会務遂行を支援する環境を整備した。

《平成26年度 テーマ》

「 国民・医療者と協働し、
質の高い医療を提供しよう。 」

年度別、都道府県(診療)放射線技師会 会員数の推移(平成17年度～平成26年度)

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
地域別 都道府県名	2006.3.31	2007.3.31	2008.3.31	2009.3.31	2010.3.31	2011.3.31	2012.3.31	2013.3.31	2014.3.31	2015.3.31
北海道	2,070	1,992	1,991	1,859	1,741	1,670	1,661	1,622	1,641	1,603
東北	2,070	1,992	1,991	1,859	1,741	1,670	1,661	1,622	1,641	1,603
青森	385	377	361	350	313	305	307	293	286	276
岩手	449	436	433	411	382	365	363	326	328	296
秋田	360	355	343	328	308	299	304	304	309	329
宮城	546	527	554	532	500	494	476	453	450	427
山形	369	372	373	379	364	363	363	361	370	360
福島	575	568	573	559	531	517	513	478	481	456
小計	2,684	2,635	2,637	2,559	2,398	2,343	2,326	2,215	2,224	2,144
北関東	644	636	625	599	577	558	559	520	514	502
栃木	476	467	479	468	459	450	454	444	447	437
茨城	740	727	708	691	656	660	676	665	669	679
群馬	539	552	557	533	508	497	502	490	484	473
埼玉	1,193	1,192	1,196	1,159	1,072	1,051	1,085	1,095	1,076	1,068
小計	3,592	3,574	3,565	3,450	3,272	3,216	3,276	3,214	3,190	3,159
南関東	655	653	680	631	607	599	609	623	650	651
千葉	2,457	2,350	2,361	2,194	2,048	1,986	2,010	1,965	1,977	1,961
神奈川	1,648	1,624	1,662	1,650	1,535	1,515	1,503	1,480	1,421	1,354
山梨	232	229	225	216	206	210	211	213	211	202
長野	610	592	609	580	547	548	552	540	529	544
小計	5,602	5,448	5,537	5,271	4,943	4,858	4,885	4,821	4,788	4,712
中日本	349	330	327	313	302	297	306	293	297	285
石川	422	434	434	428	422	420	430	427	411	402
富山	303	303	306	300	297	297	309	311	310	299
静岡	909	913	927	902	846	846	832	805	805	797
愛知	1,808	1,803	1,860	1,862	1,782	1,777	1,820	1,832	1,843	1,819
岐阜	662	658	676	665	650	648	666	647	660	661
三重	480	473	488	481	482	480	488	479	485	470
小計	4,933	4,914	5,018	4,951	4,781	4,765	4,851	4,794	4,811	4,733
近畿	396	386	403	395	362	371	381	379	382	374
滋賀	556	565	546	528	480	486	489	475	475	454
京都	389	383	381	370	349	354	365	374	380	389
奈良	311	310	313	299	283	279	280	277	267	262
和歌山	1,496	1,448	1,462	1,414	1,297	1,222	1,229	1,184	1,203	1,140
大阪	1,358	1,341	1,378	1,348	1,283	1,274	1,300	1,272	1,266	1,242
兵庫	4,506	4,433	4,483	4,354	4,054	3,986	4,044	3,961	3,973	3,861
小計	677	685	697	686	680	666	673	663	660	664
中四国	757	748	722	708	693	687	690	690	683	669
岡山	193	197	202	195	190	193	198	187	188	183
広島	237	235	234	240	234	220	230	224	223	224
鳥取	433	433	452	445	439	454	462	465	479	474
島根	264	227	220	203	196	194	185	173	170	175
山口	320	321	307	303	291	293	309	308	309	318
徳島	428	417	424	412	397	366	368	374	370	375
香川	245	239	236	222	215	206	192	189	187	177
愛媛	3,554	3,502	3,494	3,414	3,335	3,279	3,307	3,273	3,269	3,259
高知	1,621	1,658	1,643	1,642	1,632	1,649	1,684	1,667	1,672	1,644
福岡	189	185	193	193	189	187	195	202	194	190
佐賀	397	384	384	368	348	350	362	355	364	370
長崎	364	357	361	351	356	360	362	361	348	336
熊本	463	437	444	432	420	427	440	441	453	454
宮崎	358	353	366	363	357	355	351	348	332	349
鹿児島	445	446	456	460	454	451	458	467	453	442
沖縄	373	380	381	362	342	336	330	318	317	310
小計	4,210	4,200	4,228	4,171	4,098	4,115	4,182	4,159	4,133	4,095
所属無	0	0	0	0	45	63	65	66	57	52
合計	31,151	30,698	30,953	30,029	28,667	28,295	28,597	28,125	28,086	27,618

※平成23年度から平成25年度までの会員数には仮会員の数が含まれる
※仮会員とは入会手続き中の申請者のこと

平成26年度 学術関係事業報告

1. 基礎技術講習会（都道府県開催）

ID	セミナー名	開催日	開催場所	申込者	受講者
1	「MRI検査」(九州)	2014/6/14	宮崎県	51	49
2	「一般撮影」(中日本)	2014/6/29	福井県	36	34
3	「血管造影検査」(中日本)	2014/7/13	石川県	27	20
4	「一般撮影」(南関東)	2014/7/13	東京都	49	43
5	「MRI検査」(東北)	2014/7/26	青森県	29	26
6	「乳房撮影」(九州)	2014/8/3	鹿児島県	24	20
7	「放射線治療」(中四国)	2014/8/9	徳島県	45	開催中止
8	「X線CT検査」(九州)	2014/8/9・10	熊本県	90	86
9	「消化管撮影」(中四国)	2014/8/17	愛媛県	19	19
10	「一般撮影」(中四国)	2014/8/24	山口県	34	34
11	「X線CT検査」(中日本)	2014/9/13・14	富山県	91	84
12	「血管造影検査」(北海道)	2014/10/5	北海道	27	22
13	「X線CT検査」(北関東)	2014/10/5	埼玉県	50	43
14	「X線CT検査」(近畿)	2014/10/26	兵庫県	62	63
15	「一般撮影」(北関東)	2014/10/26	栃木県	41	57
16	「一般撮影」(北海道)	2014/11/9	北海道	22	15
17	「一般撮影」(南関東)	2014/11/16	神奈川県	37	35
18	「乳房撮影」(北関東)	2014/11/29	茨城県	34	26
19	「消化管撮影」(南関東)	2014/11/30	東京都	36	30
20	「MRI検査」(中日本)	2014/12/7	静岡県	60	52
21	「一般撮影」(九州)	2014/12/14	鹿児島県	32	27
22	「核医学検査」(中日本)	2014/12/14	愛知県	32	31
23	「消化管撮影」(東北)	2015/1/24	秋田県	28	22
24	「放射線治療」(中日本)	2015/1/25	三重県	30	28
25	「血管造影検査」(中四国)	2015/1/25	島根県	28	27
26	「乳房撮影」(東北)	2015/1/25	宮城県	24	22
27	「消化管撮影」(中日本)	2015/1/25	岐阜県	27	23
28	「核医学検査」(九州)	2015/1/25	沖縄県	22	21
29	「MRI検査」(東北)	2015/1/31	山形県	46	43
30	「放射線治療」(南関東)	2015/2/1	東京都	24	21
31	「超音波検査」(南関東)	2015/2/7	本会講義室	5	開催中止
32	「消化管撮影」(中四国)	2015/2/8	香川県	21	20
33	「MRI検査」(九州)	2015/2/14	宮崎県	26	24
34	「MRI検査」(東北)	2015/2/15	福島県	49	44
35	「放射線治療」(九州)	2015/2/15	長崎県	35	33
36	「一般撮影」(南関東)	2015/2/15	千葉県	25	28
37	「消化管撮影」(北海道)	2015/2/15	北海道	26	19
38	「MRI検査」(近畿)	2015/2/22	大阪府	63	56
39	「MRI検査」(中四国)	2015/2/22	広島県	37	35
40	「超音波検査」(近畿)	2015/3/8	奈良県	26	25
41	「核医学検査」(e-learning収録)	2015/3/28・29	愛知県	—	—
	計			1,470	1,307

*基礎技術講習会（再掲）

	講習会名	回数	申込者	受講者
1	X線CT検査	4	293	276
2	MRI検査	8	361	329
3	核医学検査	3	54	52
4	一般撮影	8	276	273
5	消化管撮影	6	157	133
6	乳房撮影	3	82	68
7	放射線治療	3	134	82
8	血管造影検査	3	82	69
9	超音波検査	1	31	25
	計	39	1,470	1,307

（開催中止：2回，申込者：50名）

2. フレッシュャーズセミナー（都道府県開催）

ID	セミナー名	開催日	開催場所	開催目標数	受講者
1	フレッシュャーズセミナー	2014/4/27	群馬県	20	17
2	フレッシュャーズセミナー	2014/5/11	埼玉県	58	58
3	フレッシュャーズセミナー	2014/5/25	東京都	89	82
4	フレッシュャーズセミナー	2014/6/1	茨城県	32	32
5	フレッシュャーズセミナー	2014/6/8	岩手県	15	18
6	フレッシュャーズセミナー	2014/6/8	千葉県	41	41
7	フレッシュャーズセミナー	2014/6/14	宮城県	21	21
8	フレッシュャーズセミナー	2014/6/14	兵庫県	25	20
9	フレッシュャーズセミナー	2014/6/15	栃木県	23	23
10	フレッシュャーズセミナー	2014/6/15	徳島県	8	9
11	フレッシュャーズセミナー	2014/6/15	福島県	29	30
12	フレッシュャーズセミナー	2014/6/15	静岡県	40	13
13	フレッシュャーズセミナー	2014/6/21	熊本県	30	30
14	フレッシュャーズセミナー	2014/6/21	北海道	26	33
15	フレッシュャーズセミナー	2014/6/29	鹿児島県	50	42
16	フレッシュャーズセミナー	2014/6/29	鳥取県	12	5
17	フレッシュャーズセミナー	2014/7/5	佐賀県	15	14
18	フレッシュャーズセミナー	2014/7/5・6	長野県	29	30
19	フレッシュャーズセミナー	2014/7/6	奈良県	15	9
20	フレッシュャーズセミナー	2014/7/6	和歌山県	9	9
21	フレッシュャーズセミナー	2014/7/12	京都府	31	14
22	フレッシュャーズセミナー	2014/7/12	大分県	12	2
23	フレッシュャーズセミナー	2014/7/12	高知県	5	7
24	フレッシュャーズセミナー	2014/7/12	宮崎県	20	18
25	フレッシュャーズセミナー	2014/7/13	山口県	8	8
26	フレッシュャーズセミナー	2014/7/19	岐阜県	70	59
27	フレッシュャーズセミナー	2014/7/20	愛知県	62	61
28	フレッシュャーズセミナー	2014/7/26	福井県	21	22
29	フレッシュャーズセミナー	2014/7/26	山梨県	8	8
30	フレッシュャーズセミナー	2014/7/27	岡山県	40	50
31	フレッシュャーズセミナー	2014/8/2	香川県	27	28
32	フレッシュャーズセミナー	2014/8/2	石川県	9	9
33	フレッシュャーズセミナー	2014/8/2	島根県	12	11

ID	セミナー名	開催日	開催場所	開催目標数	受講者
34	フレッシュャーズセミナー	2014/8/3	大阪府	30	24
35	フレッシュャーズセミナー	2014/8/3	長崎県	9	10
36	フレッシュャーズセミナー	2014/8/10	滋賀県	17	8
37	フレッシュャーズセミナー	2014/8/23	山形県	10	7
38	フレッシュャーズセミナー	2014/8/23	福岡県	40	43
39	フレッシュャーズセミナー	2014/8/24	神奈川県	30	7
40	フレッシュャーズセミナー	2014/8/31	富山県	14	10
41	フレッシュャーズセミナー	2014/9/28	沖縄県	20	15
42	フレッシュャーズセミナー	2014/10/4	新潟県	15	14
43	フレッシュャーズセミナー	2014/11/8	秋田県	30	18
	計			1,127	989

3. 静脈注射（針刺しを除く）講習会

ID	セミナー名	開催日	開催場所	申込者	受講者
1	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/5/25	岐阜県	34	31
2	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/6/21	山形県	24	23
3	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/6/29	北海道	31	31
4	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/6/29	宮城県	3	開催中止
5	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/7/6	佐賀県	2	開催中止
6	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/7/6	三重県	33	32
7	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/7/13	島根県	37	36
8	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/7/27	秋田県	23	21
9	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/8/3	東京都①	43	42
10	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/8/10	高知県	25	21
11	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/8/24	鹿児島県	28	28
12	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/8/24	北海道	26	26
13	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/8/31	鳥取県	7	7
14	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/9/7	静岡県	39	37
15	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/9/7	福島県	14	14
16	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/9/28	東京都②	48	46
17	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/10/5	石川県①	20	18
18	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/10/19	北海道	37	36
19	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/10/26	千葉県	50	50
20	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/10/26	富山県	22	22
21	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/10/26	滋賀県	28	28
22	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/10/26	岡山県	46	46
23	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/11/8	大阪府	23	22
24	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/11/9	大阪府	29	27
25	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/11/9	東京都③	51	49
26	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/11/16	愛知県	45	44
27	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/11/16	広島県	41	39
28	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/11/16	京都府	34	33
29	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/11/16	長崎県	37	35
30	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/11/30	岐阜県	53	48
31	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/11/30	山梨県	24	24
32	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/11/30	愛知県	49	44
33	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/11/30	徳島県	21	19
34	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/12/7	奈良県	47	44

ID	セミナー名	開催日	開催場所	申込者	受講者
35	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/12/7	長野県	23	22
36	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/12/7	熊本県	50	49
37	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/12/14	宮崎県	47	44
38	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/12/14	兵庫県	33	31
39	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/12/14	和歌山県	8	8
40	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/1/18	長崎（島原）	37	33
41	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/1/18	長崎（杵岐）	11	11
42	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2014/1/18	長崎（下五島）	12	12
43	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2015/1/18	石川県	3	開催中止
44	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2015/1/25	広島県	39	34
45	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2015/1/25	東京都④	50	44
46	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2015/2/1	福井県	37	34
47	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2015/2/1	福岡県①	50	46
48	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2015/2/8	静岡県	36	34
49	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2015/2/8	山口県	50	49
50	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2015/2/8	長崎（対馬）	6	6
51	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2015/2/8	長崎（上五島）	7	7
52	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2015/2/8	長崎（佐世保）	50	52
53	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2015/2/15	沖縄県①	10	10
54	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2015/2/22	香川県	46	44
55	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2015/2/22	神奈川県	50	44
56	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2015/2/22	沖縄県②	41	40
57	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2015/3/1	福岡県②	50	46
58	静脈注射（針刺しを除く）講習会	2015/3/1	東京都⑤	50	46
	計			1,870	1,769

4. Ai認定講習会

ID	セミナー名	開催日	開催場所	受講申込者	受講者
1	Ai認定講習会	6/21・22	愛知県	110	108
2	Ai認定講習会	11/8・9	広島県	96	97
3	Ai認定講習会	2015/1/31・2/1	東京都	107	107
4	小児Ai従事者講習会	2015/3/8	講義室	47	43
	計			360	355

5. 実践医療被ばく線量評価セミナー

ID	セミナー名	開催日	開催場所	受講申込者	受講者
1	実践医療被ばく線量評価セミナー	2014/6/29	講義室	45	42
2	実践医療被ばく線量評価セミナー	2014/11/23	大阪府	28	26
	計			73	68

6. 放射線取扱主任者定期講習会

ID	セミナー名	開催日	開催場所	受講申込者	受講者
1	第26回定期講習会	2014/6/20	講義室	17	17
2	第27回定期講習会	2014/10/17	講義室	16	16
3	第28回定期講習会	2015/2/20	講義室	24	24
	計			57	57

7. 注腸X線検査在宅講習会

ID	セミナー名	開催日	開催場所	受講申込者
1	注腸X線統一在宅講習会	e-learning	在宅講習	231
	計			231

8. 注腸X線統一講習会

ID	セミナー名	開催日	開催場所	受講申込者	受講者
1	注腸X線統一講習会	8/9・10	講義室	24	21
2	注腸X線統一講習会	10/11・12	大阪府	7	開催中止
3	注腸X線統一講習会	11/22・23	講義室	32	30
	計			63	51

9. 読影セミナー

ID	セミナー名	開催日	開催場所	受講申込者	受講者
1	第9回ナイトセミナー	2014/5/19	講義室	45	38
2	第10回ナイトセミナー	2014/6/23	講義室	50	36
3	第4回読影セミナー	2014/7/27	昭和大学	138	129
4	第11回ナイトセミナー	2014/9/29	講義室	55	38
5	第12回ナイトセミナー	2014/10/20	講義室	48	41
6	第13回ナイトセミナー	2014/11/17	講義室	50	37
7	第14回ナイトセミナー	2015/2/23	講義室	38	30
8	第15回ナイトセミナー	2015/3/23	講義室	46	39
9	第5回読影セミナー	2015/1/18	兵庫医科大学	146	134
	計			616	522

10. 放射線被ばく相談員講習会

ID	セミナー名	開催日	開催場所	受講申込者	受講者
1	放射線被ばく相談員講習会	2014/9/26～28	講義室	30	30
2	放射線被ばく相談員講習会	2015/2/13～15	講義室	30	29
	計			60	59

11. 認定講習会（上半期）

ID	セミナー名	開催日	開催場所	受講申込者
1	医療画像情報精度管理士	e-learning	在宅講習	259
2	放射線管理士	e-learning	在宅講習	300
3	放射線機器管理士	e-learning	在宅講習	257
4	臨床実習指導教員	e-learning	在宅講習	38
	計			854

12. 第1回認定資格試験

ID	セミナー名	開催日	開催場所	受験申込者	受験者
1	第6回医療画像情報精度管理士	2014/8/31	東京・長崎	79	71
2	第27回放射線管理士	2014/8/31	東京・長崎	130	129
3	第29回放射線機器管理士	2014/8/31	東京・長崎	110	103
4	第16回臨床実習指導教員	2014/8/31	東京・長崎	18	18
	計			337	321

13. 認定講習会（下半期）

ID	セミナー名	開催日	開催場所	受講申込者
1	医療画像情報精度管理士	e-learning	在宅講習	175
2	放射線管理士	e-learning	在宅講習	174
3	放射線機器管理士	e-learning	在宅講習	157
4	臨床実習指導教員	e-learning	在宅講習	68
	計			574

14. 第2回認定資格試験

ID	セミナー名	開催日	開催場所	受験申込者	受験者
1	第7回医療画像情報精度管理士	2015/1/25	東京・大阪	85	81
2	第28回放射線管理士	2015/1/25	東京・大阪	102	96
3	第30回放射線機器管理士	2015/1/25	東京・大阪	93	89
4	第17回臨床実習指導教員	2015/1/25	東京・大阪	68	67
	計			348	333

15. 資格更新書類申込者

ID	セミナー名	申込締切	更新方法	受講申込者
1	医療画像情報精度管理士	2014/9/30	書類審査	12
2	放射線管理士	2014/9/30	書類審査	808
3	放射線機器管理士	2014/9/30	書類審査	852
4	臨床実習指導教員	2014/9/30	書類審査	179
	計			1,851

16. 資格更新講習会

ID	セミナー名	開催日	更新方法	受講申込者
1	医療画像情報精度管理士	e-learning	在宅講習	17
2	放射線管理士	e-learning	在宅講習	224
3	放射線機器管理士	e-learning	在宅講習	204
4	臨床実習指導教員	e-learning	在宅講習	80
	計			525

17. 資格失効者講習会

ID	セミナー名	開催日	更新方法	受講申込者
1	医療画像情報精度管理士	e-learning	在宅講習	26
2	放射線管理士	e-learning	在宅講習	26
3	放射線機器管理士	e-learning	在宅講習	19
4	臨床実習指導教員	e-learning	在宅講習	12
	計			83

18. 医療画像情報精度管理士移行講習会

ID	セミナー名	開催日	開催場所	受講申込者
1	医療画像情報精度管理士移行講習会	e-learning	在宅講習	81
	計			81

19. オンラインセミナー（上半期）

ID	セミナー名	開催日	開催場所	受講申込者
1	医療機器安全管理責任者	e-learning	在宅講習	121
	計			121

20. オンラインセミナー（下半期）

ID	セミナー名	開催日	開催場所	受講申込者
1	医療機器安全管理責任者	e-learning	在宅講習	49
	計			49

21. ADセミナー（上半期）

ID	セミナー名	開催日	開催場所	受講申込者
1	医療安全学	e-learning	開講せず	
2	医療社会倫理学	e-learning	在宅講習	165
3	救急医療学	e-learning	在宅講習	225
4	看護学		開講せず	
5	救急医療学（実技）	2014/8/2	講義室	7
	計			397

22. ADセミナー（下半期）

ID	セミナー名	開催日	開催場所	受講申込者
1	医療安全学	e-learning	在宅	133
2	医療社会倫理学	e-learning	在宅	69
3	救急医療学	e-learning	在宅	104
4	看護学	2015/1/17・18	埼玉県	40
	計			346

23. マネジメント講習会

ID	セミナー名	開催日	開催場所	受講申込者	受講者
	マネジメント講習会	2015/1/24・25	大阪府	24	23
	計			24	23

24. 第22回東アジア学術交流大会

ID	セミナー名	開催日	開催場所	参加申込者
	第22回東アジア学術交流大会	2015/3/29	台湾	31
	計			31

25. 業務拡大に伴う統一講習会

ID	セミナー名	開催日	開催場所	受講申込者	受講者
	業務拡大に伴う統一講習会	2015/2/28・3/1	AP浜松町	94	94
	計			94	94

平成26年度 総 計				11,642	5,948
------------	--	--	--	--------	-------